

別記第1 申請書等の記入要領

1 設置許可申請書 【様式第2】

- ① 申請に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、危険物施設を設置しようとする者の住所、氏名を記入する。
申請者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付する。
- ⑤ 「設置者」欄は、申請者と同一住所及び氏名を記入する。
住所は設置者の住所を記入すること。法人である場合は主たる事業所（事務所等）の所在地を記入する。
- ⑥ 「設置場所」欄は、当該製造所等を設置する所在地を記入する。
原則として、登記簿に記載されている所在地を記入するが、地番等が確定していない場合は、既に登記されている代表的な地番地先を記入する。
- ⑦ 「設置場所の地域別」欄は、都市計画情報等により確認し、記入する。
防火地域の欄は、都市計画法第8条第1項第5号に規定する、「防火地域」、「準防火地域」、「その他の地域」のうち該当するものを記入する。
- ⑧ 用途地域の欄は、都市計画法第8条第1項第1号に規定する、「第一種低層住居専用地域」、「第二種低層住居専用地域」、「第一種中高層住居専用地域」、「第二種中高層住居専用地域」、「第一種住居地域」、「第二種住居地域」、「準住居地域」、「近隣商業地域」、「商業地域」、「準工業地域」、「工業地域」、「工業専用地域」、「指定のない地域」のうち該当するものを記入する。
- ⑨ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑩ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑪ 「危険物の類、品名、最大数量」欄は、次により記入する。
 - a 法別表に掲げる類、品名及び当該物品の化学名又は通称名を記入する。
 - b 最大数量は、貯蔵又は取り扱う危険物の最大数量を記入する。
 - c 製造所（一般取扱所）にあつては、原料危険物、中間危険物及び製品危険物のすべてを記入するとともに、危険物の類、品名、最大数量を算出した経過を示す書類を添付する。
- ⑫ 「位置、構造及び設備の基準に係る区分」欄は、当該製造所等に適用される位置、構造及び設備の基準に従い条項を記入する。
 - 例 a 特定屋内貯蔵所（平家建独立専用建築物）
令第10条第4項（規則第16条の2の3第2項）
 - b 自家用給油取扱所
令第17条第3項（規則第28条第3項）
 - c 屋上に設置するボイラー等の一般取扱所
令第19条第2項（規則第28条の57第4項）
- ⑬ 「位置、構造、設備の概要」欄は、当該製造所等の位置、構造、設備について簡潔に記入する。
- ⑭ 「危険物の貯蔵又は取扱方法の概要」欄は、危険物の貯蔵又は取扱いの目的又は概要を簡潔に記入する。
給油取扱所又は詰替えの一般取扱所で容量4,000L以下の移動タンク貯蔵所等に注油を行う場合はその旨を明記する。
- ⑮ 「着工予定期日」、「完成予定期日」欄は、日にちを記入するか又は「許可後即日」、「着工後何日」等と記入する。

-
- ⑩ 「その他必要な事項」欄は、工事に際して上記以外の特筆すべき内容がある場合に簡潔に記入する。

様式第2 (第4条関係)

~~製造所~~

【記入例】

危険物 ~~貯蔵所~~ 設置許可申請書
取扱所

〇〇年〇〇月〇〇日			
さいたま市長 殿			
申請者 〇〇県〇〇市〇〇区			
住所 〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 (電話000-000-0000)			
氏名 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
設置者	住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 電話 000-000-0000	
	氏名	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
設置場所		さいたま市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号	
設置場所の地域別		防火地域別	用途地域別
		その他の地域	指定のない地域
製造所等の別		取扱所	貯蔵所又は取扱所の区分 一般取扱所
危険物の類、品名（指定数量）、最大数量		第4類 第2石油類 軽油 〇〇〇〇L	指定数量の倍数 〇〇倍
位置、構造及び設備の基準に係る区分		令第〇〇条 第〇〇項 (規則 第〇〇条 第〇〇項)	
位置、構造、設備の概要		別添資料のとおり	
危険物の貯蔵又は取扱方法の概要		地下タンク貯蔵所よりポンプにて危険物を燃料小出槽に移送し自然流下で非常用発電機に供給し消費する。	
着工予定期日		許可後即日	完成予定期日 着工後〇〇日
その他必要な事項			
※ 受付欄		※ 経過欄	
		許可年月日	
		許可番号	
※ 手数料欄			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 この設置許可申請書は、移送取扱所以外の製造所等に用いるものであること。
- 3 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 4 品名（指定数量）の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に（ ）内に該当する指定数量を記載すること。
- 5 位置、構造及び設備の基準に係る区分の欄には、適用を受けようとする危険物の規制に関する政令の条文を記入すること。危険物の規制に関する規則の適用条文の記載がさらに必要な場合は（ ）内に記載すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。

2 変更許可申請書 【様式第5】

- ① 申請に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、原則として設置者の住所、氏名を記入する。ただし、設置者以外の所有者、管理者又は占有者が変更しようとする場合は、当該関係者の住所、氏名を記入する。
申請者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付する。
- ⑤ 「設置者」欄は、当該製造所等の設置者の住所及び氏名を記入する。
- ⑥ 「設置場所」欄は、当該製造所等の所在地を記入する。
- ⑦ 「設置場所の地域別」欄は、都市計画情報等により確認し、記入する。
防火地域の欄は、都市計画法第8条第1項第5号に規定する、「防火地域」、「準防火地域」、「その他の地域」のうち該当するものを記入する。
- ⑧ 用途地域の欄は、都市計画法第8条第1項第1号に規定する、「第一種低層住居専用地域」、「第二種低層住居専用地域」、「第一種中高層住居専用地域」、「第二種中高層住居専用地域」、「第一種住居地域」、「第二種住居地域」、「準住居地域」、「近隣商業地域」、「商業地域」、「準工業地域」、「工業地域」、「工業専用地域」、「指定のない地域」のうち該当するものを記入する。
- ⑨ 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、当該製造所等の設置許可年月日及び番号を記入する。
- ⑩ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑪ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑫ 「危険物の類、品名、最大数量」欄は、次により記入する。項目が多い場合は、「別紙のとおり」として別紙に記入する。
 - a 法別表に掲げる類、品名及び当該物品の化学名又は通称名を記入する。
 - b 最大数量は、貯蔵又は取り扱う危険物の最大数量を記入する。
 - c 製造所（一般取扱所）にあつては、原料危険物、中間危険物及び製品危険物のすべてを記入するとともに、危険物の類、品名、最大数量を算出した経過を示す書類を添付する。
- ⑬ 「位置、構造及び設備の基準に係る区分」欄は、当該製造所等に適用される位置、構造及び設備の基準に従い条項を記入する。
 - 例 a 特定屋内貯蔵所（平家建独立専用建築物）
令第10条第4項（規則第16条の2の3第2項）
 - b 自家用給油取扱所
令第17条第3項（規則第28条第3項）
 - c 屋上に設置するボイラー等の一般取扱所
令第19条第2項（規則第28条の57第4項）
- ⑭ 「変更の内容」欄は、位置、構造、設備に係る変更内容を簡潔に記入し、項目が多い場合は、「別紙のとおり」として別紙に記入する。
- ⑮ 「変更の理由」欄は、目的又は概要を簡潔に記入する。
- ⑯ 「着工予定期日」、「完成予定期日」欄は、日にちを記入するか又は「許可後即日」、「着工後何日」等と記入する。
- ⑰ 「その他必要な事項」欄は、工事に際して上記以外の特筆すべき内容がある場合に簡潔に記入する。

様式第5 (第5条関係)

【記入例】

~~製造所~~
危険物 ~~貯蔵所~~ 変更許可申請書
取扱所

〇〇年〇〇月〇〇日			
さいたま市長 殿			
申請者 〇〇県〇〇市〇〇区			
住所 〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 (電話000-000-0000)			
氏名 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
設置者	住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 電話 000-000-0000	
	氏名	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
設置場所		さいたま市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号	
設置場所の地域別		防火地域別	用途地域別
		準防火地域	工業地域
設置の許可年月日 及び許可番号		〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇 号	
製造所等の別		取扱所	貯蔵所又は取扱所の区分
危険物の類、品名（指定数量）、最大数量		第4類 第2石油類 (6000L)	指定数量の倍数 6倍
位置、構造及び設備の基準に係る区分		令第〇〇条 第〇〇項 (規則 第〇〇条 第〇〇項)	
変更の内容		配管の引換え工事 (鉄管→樹脂管)	
変更の理由		老朽化のため	
着工予定期日		許可後即日	完成予定期日 着工後〇〇日
その他必要な事項			
※ 受付欄		※ 経過欄	
		許可年月日	
		許可番号	
※ 手数料欄			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 この変更許可申請書は、移送取扱所以外の製造所等に用いるものであること。
- 3 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 4 品名（指定数量）の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に（ ）内に該当する指定数量を記載すること。
- 5 位置、構造及び設備の基準に係る区分の欄には、適用を受けようとする危険物の規制に関する政令の条文を記入すること。危険物の規制に関する規則の適用条文の記載がさらに必要な場合は（ ）内に記載すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。

3 仮使用承認申請書 【様式第7】

- ① 申請に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、原則として設置者の住所、氏名を記入する。ただし、設置者以外の所有者、管理者又は占有者が変更しようとする場合は、当該関係者の住所、氏名を記入する。
申請者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付する。
- ⑤ 「設置場所」欄は、当該製造所等の所在地を記入する。
- ⑥ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑦ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑧ 「変更許可申請年月日」欄は、申請する工事に係る変更許可申請年月日を記入する。
- ⑨ 「変更の許可年月日及び許可番号」欄は、すでに変更許可を受けた後にこの申請を行う場合は、変更許可年月日・番号を記入する。変更許可がされていない場合は斜線を入れる。
- ⑩ 「仮使用の承認を申請する部分」欄は、「別添図面のとおりに」と記入し、図面を添付する。

様式第7 (第5条の2関係)

【記入例】

~~製造所~~

危険物~~貯蔵所~~仮使用承認申請書

取扱所

〇〇年〇〇月〇〇日

さいたま市長 殿

申請者 〇〇県〇〇市〇〇区

住所 〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 (電話000 - 000 - 0000)

氏名 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇

設置場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号		
製造所等の別	取扱所	貯蔵所又は取扱所の区分	給油取扱所
変更許可申請年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇 号		
変更の許可年月日及び許可番号	〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇 号		
仮使用の承認を申請する部分	別添図面のとおり		
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日 承認番号		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 変更の許可前にこの申請を行おうとする場合にあつては変更許可申請年月日の欄に、変更の許可後にこれを行おうとする場合にあつては変更の許可年月日及び許可番号の欄にそれぞれ記入し、いずれか記入しない欄には斜線を入れること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。

4 変更許可及び仮使用承認申請書 【様式第7の2】

- ① 申請に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、原則として設置者の住所、氏名を記入する。ただし、設置者以外の所有者、管理者又は占有者が変更しようとする場合は、当該関係者の住所、氏名を記入する。
申請者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付する。
- ⑤ 「設置者」欄は、当該製造所等の設置者の住所及び氏名を記入する。
- ⑥ 「設置場所」欄は、当該製造所等の所在地を記入する。
- ⑦ 「設置場所の地域別」欄は、都市計画情報等により確認し、記入する。
防火地域の欄は、都市計画法第8条第1項第5号に規定する、「防火地域」、「準防火地域」、「その他の地域」のうち該当するものを記入する。
- ⑧ 用途地域の欄は、都市計画法第8条第1項第1号に規定する、「第一種低層住居専用地域」、「第二種低層住居専用地域」、「第一種中高層住居専用地域」、「第二種中高層住居専用地域」、「第一種住居地域」、「第二種住居地域」、「準住居地域」、「近隣商業地域」、「商業地域」、「準工業地域」、「工業地域」、「工業専用地域」、「指定のない地域」のうち該当するものを記入する。
- ⑨ 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、当該製造所等の設置許可年月日及び番号を記入する。
- ⑩ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑪ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑫ 「危険物の類、品名、最大数量」欄は、次により記入する。項目が多い場合は、「別紙のとおり」として別紙に記入する。
 - a 法別表に掲げる類、品名及び当該物品の化学名又は通称名を記入する。
 - b 最大数量は、貯蔵又は取り扱う危険物の最大数量を記入する。
 - c 製造所（一般取扱所）にあつては、原料危険物、中間危険物及び製品危険物のすべてを記入するとともに、危険物の類、品名、最大数量を算出した経過を示す書類を添付する。
- ⑬ 「位置、構造及び設備の基準に係る区分」欄は、当該製造所等に適用される位置、構造及び設備の基準に従い条項を記入する。

(例) a 特定屋内貯蔵所（平家建独立専用建築物）
令第10条第4項（規則第16条の2の3第2項）
b 自家用給油取扱所
令第17条第3項（規則第28条第3項）
c 屋上に設置するボイラー等の一般取扱所
令第19条第2項（規則第28条の57第4項）
- ⑭ 「変更の内容」欄は、位置、構造、設備に係る変更内容を簡潔に記入し、項目が多い場合は、「別紙のとおり」として別紙に記入する。
- ⑮ 「変更の理由」欄は、目的又は概要を簡潔に記入する。
- ⑯ 「着工予定期日」、「完成予定期日」欄は、日にちを記入するか又は「許可後即日」、「着工後何日」等と記入する。
- ⑰ 「その他必要な事項」欄は、工事に際して上記以外の特筆すべき内容がある場合に簡潔に記入する。

様式第7の2 (第5条の3関係)

【記入例】

~~製造所~~
危険物貯蔵所変更許可及び仮使用承認申請書
~~取扱所~~

〇〇年〇〇月〇〇日			
さいたま市長 殿			
申請者 〇〇県〇〇市〇〇区			
住所 〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 (電話 000 - 000 - 0000)			
氏名 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
設置者	住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 電話 000-000-0000	
	氏名	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
設置場所		さいたま市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号	
設置場所の地域別		防火地域別	用途地域別
		その他の地域	準工業地域
設置の許可年月日及び許可番号		〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇 号	
製造所等の別		貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分 屋内貯蔵所
危険物の類、品名(指定数量)、最大数量		第4類 第3石油類 (3000L)	指定数量の倍数 1.5倍
位置、構造及び設備の基準に係る区分		令第〇〇条 第〇〇項 (規則 第〇〇条 第〇〇項)	
変更の内容		出入口ドア(防火設備)の増設	
変更の理由		業務効率化のため	
着工予定期日		許可後即日	完成予定期日 着工後〇〇日
その他必要な事項			
※ 受付欄		※ 経過欄	
		許可年月日 許可番号	

仮使用の承認を申請する部分	別添図面のとおり		
※ 受付欄	※ 経過欄		※ 手数料欄
	承認年月日 承認番号		

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考2 この申請書は、移送取扱所以外の製造所等について、変更許可申請と仮使用承認申請を同時に行う場合に用いるものであること。

備考3 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

備考4 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。

備考5 位置、構造及び設備の基準に係る区分の欄には、適用を受けようとする危険物の規制に関する政令の条文を記入すること。危険物の規制に関する規則の適用条文の記載がさらに必要な場合は()内に記載すること。

備考6 ※印の欄は、記入しないこと。

5 完成検査申請書【様式第8】

- ① 申請に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、当該完成検査に係る設置許可又は変更許可を受けた者の住所、氏名を記入する。
申請者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付する。
- ⑤ 「設置者」欄は、当該製造所等の設置者の住所及び氏名を記入する。
- ⑥ 「設置場所」欄は、当該製造所等の所在地を記入する。
原則として、登記簿に記載されている所在地を記入するが、地番等が確定していない場合は、既に登記されている代表的な地番地先を記入する。
- ⑦ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑧ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑨ 「設置又は変更の許可年月日及び許可番号」欄は、当該完成検査に係る設置許可又は変更許可の年月日・番号を記入する。完成検査に係る設置許可又は変更許可が複数ある場合は、該当する全ての設置許可又は変更許可の年月日・番号を記入する。
- ⑩ 「製造所等の完成期日」欄は、工事が完了する年月日を記入する。
- ⑪ 「使用開始予定期日」欄は、完成検査後の使用を開始する日にちを記入するか又は「完成検査済証交付後即日」等の内容を記入する。

様式第8 (第6条関係)

【記入例】

製造所
 危険物~~貯蔵所~~完成検査申請書
~~取扱所~~

○○年○○月○○日		
さいたま市長 殿		
申請者 ○○県○○市○○区 住所 ○○町○○丁目○○番○○号(電話 000 - 000 - 0000) 氏名 ○○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○		
設置者	住所	○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号 電話 000-000-0000
	氏名	○○○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○
設置場所	さいたま市○○区○○町○○丁目○○番○○号	
製造所等の別	製造所	貯蔵所又は取扱所の区分
設置又は変更の許可年月日及び許可番号	○○年 ○○月 ○○日 第 ○○ 号	
製造所等の完成期日	○○年 ○○月 ○○日	
使用開始予定期日	完成検査済証交付後即日	
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄
	検査年月日 検査番号	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
 2 この完成検査申請書は、移送取扱所以外の製造所等に用いるものであること。
 3 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

6 完成検査前検査申請書 【様式第13】

- ① 申請に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、原則として設置者の住所、氏名を記入する。ただし、設置者以外の所有者、管理者又は占有者が変更しようとする場合は、当該関係者の住所、氏名を記入する。
申請者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付する。
- ⑤ 「設置者」欄は、当該製造所等の設置者の住所及び氏名を記入する。他行政庁の製造所等である場合は記入を要しない。
- ⑥ 「設置場所」欄は、当該製造所等の所在地を記入する。他行政庁の製造所等である場合は記入を要しない。
- ⑦ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑧ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑨ 「設置又は変更の許可年月日及び許可番号」欄は、当該申請に係る設置許可又は変更許可の年月日・番号を記入する。他行政庁の製造所等である場合は記入を要しない。
- ⑩ 「タンク構造」欄は、次により記入する。
 - a 「形状」は、「角型」、「横（縦）置円筒型」等と記入する。中仕切タンクの場合は、その旨を記入する。
 - b 「寸法」は、次により記入する。
 - (a) 角型の場合は、幅、奥行き、高さ
 - (b) 横（縦）置円筒型の場合は、全長、胴長、鏡出（下鏡出・上鏡出）、内径
 - (c) だ円型の場合は、全長、胴長、鏡出、長径、短径
 - c 「容量」は、危規則第2条の計算方法で算定し、危政令第5条第2項のタンク容量を記入する。
 - d 「材質記号及び板厚」欄の材質記号は、J I S規格名称等による記号を記入する。板厚は、角型の場合は、底板、側板及び天板を、横（縦）置円筒型の場合は、鏡板、胴板について記入する。
- ⑪ 「タンクの常用圧力」欄は、当該タンクの使用時における最大圧力を記入する。
- ⑫ 「検査の種類及び検査希望年月日」欄の検査の種類は、「水張検査」、「水圧検査」のうち該当するものを記入する。検査希望年月日は、当該検査の希望日を記入する。
- ⑬ 「タンクの製造者及び製造年月日」欄は、製造者が法人の場合は、法人名を記入する。
- ⑭ 「製造所等の完成予定期日」欄は、当該タンクを据え付ける製造所等の完成予定年月日を記入する。他行政庁の製造所等である場合で、設置日が未定である場合は記入を省略することができる。
- ⑮ 「他法令の適用の有無」欄は、当該タンクについて高圧ガス取締法、労働安全衛生法の適用の有無を記入する。

様式第13 (第6条の4関係)

【記入例】

~~製造所~~

危険物貯蔵所完成検査前検査申請書

~~取扱所~~

さいたま市長 殿		〇〇年〇〇月〇〇日	
申請者 〇〇県〇〇市〇〇区		住所 〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号 (電話 000 - 000 - 0000)	
氏名 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
設置者	住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号 電話 000 - 000 - 0000	
	氏名	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
設置場所		さいたま市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号	
製造所等の別		貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分 地下タンク貯蔵所
設置又は変更の許可年月日及び許可番号		〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇 号	
タンク構造	形状	横置円筒型	
	寸法	全長〇〇mm 胴長〇〇mm 鏡出〇〇mm 内径〇〇mm	容量 〇〇〇〇 L
	材質記号及び板厚	S S 4 0 0 鏡板〇〇mm 胴板〇〇mm	
タンクの最大常用圧力		常圧 kPa	
検査の種類及び検査希望年月日		水圧検査 〇〇年 〇〇月 〇〇日	
タンクの製造者及び製造年月日		〇〇工業株式会社 〇〇年 〇〇月 〇〇日	
製造所等の完成予定期日		〇〇年 〇〇月 〇〇日	
他法令の適用の有無	高圧ガス保安法		労働安全衛生法
	無		無
その他必要な事項			
※受付欄		※経過欄	
		※手数料欄	
		検査年月日	
		検査番号	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

3 設置又は変更の許可年月日及び許可番号の欄は、完成検査前検査の申請が設置の許可に係るものにあつては設置許可の年月日及び許可番号を、変更許可に係るものにあつては変更の許可年月日及び許可番号を記入すること。

4 水張検査又は水圧検査以外の検査の申請をするときは、タンクの製造者及び製造年月日の欄は記入を必要としないこと。

5 製造所等を管轄する市町村長等以外の行政機関に水張検査又は水圧検査の申請をするときは、設置者の欄、設置場所の欄、設置又は変更の許可年月日及び許可番号の欄は記入を必要としないこと。

6 上記5の申請をするときは、タンクの構造明細図書を2部添付すること。

7 ※印の欄は、記入しないこと。

7 譲渡引渡届出書 【様式第15】

- ① 届出に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 届出日（届出書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「届出者」欄は、譲渡又は引渡を受けた者の住所、氏名を記入する。届出者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。
- ⑤ 「譲渡又は引渡を受けた者」欄は、新たに設置者となる者の住所、氏名を記入し、届出者と同一の記入となる。
- ⑥ 「譲渡又は引渡をした者」欄は、従前の設置者の住所、氏名を記入する。
- ⑦ 「製造所等」欄の「設置場所」は、当該製造所等の所在地を記入する。
- ⑧ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑨ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑩ 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、当該製造所等の設置許可の年月日及び番号を記入する。
- ⑪ 「設置の完成検査年月日及び検査番号」欄は、当該製造所等の設置の完成検査年月日及び番号を記入する。
- ⑫ 「危険物の類、品名、最大数量」欄は、次により記入する。項目が多い場合は、「別紙のとおり」として別紙に記入する。
 - a 法別表に掲げる類、品名及び当該物品の化学名又は通称名を記入する。
 - b 最大数量は、貯蔵又は取り扱う危険物の最大数量を記入する。
- ⑬ 「譲渡又は引渡のあった理由」欄は、理由を簡潔に記入する

様式第 15 (第 7 条関係)

~~製造所~~
危険物 貯蔵所 譲渡引渡届出書
~~取扱所~~

【記入例】

○○年 ○○月 ○○日 さ い た ま 市 長 様				
届 出 者 (電話 000 - 000 - 0000) 住 所 ○○県○○市○○区○○町○丁目○○番○○号 ○○○○株式会社 氏 名 代表取締役 ○○ ○○				
譲渡又は引渡を受けた者	住 所 ○○県○○市○○区○○町○丁目○○番○○号電話 000 - 000 - 0000 氏 名 ○○○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○			
譲渡又は引渡をした者	住 所 ○○県○○市○○区○○町○丁目○○番○○号電話 000 - 000 - 0000 氏 名 ○○○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○			
製 造 所 等	設 置 場 所 さいたま市○○区○○町○丁目○○番○○号			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center; padding: 5px;">貯蔵所</td> <td style="width: 30%; text-align: center; padding: 5px;">貯蔵所又は取扱所の区分</td> <td style="width: 40%; text-align: center; padding: 5px;">地下タンク貯蔵所</td> </tr> </table>	貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分	地下タンク貯蔵所
	貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分	地下タンク貯蔵所	
	設置の許可年月日及び許可番号 ○○年 ○○月 ○○日 第 ○○ 号			
	設置の完成検査年月日及び検査番号 ○○年 ○○月 ○○日 第 ○○ 号			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">危険物の類、品名 (指定数量)、最大数</td> <td style="width: 30%; padding: 5px;">第 4 類 第 2 石油類 軽油(1,000ℓ) 10,000ℓ</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">指定数量の倍数</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">1 0 倍</td> </tr> </table>	危険物の類、品名 (指定数量)、最大数	第 4 類 第 2 石油類 軽油(1,000ℓ) 10,000ℓ	指定数量の倍数	1 0 倍
危険物の類、品名 (指定数量)、最大数	第 4 類 第 2 石油類 軽油(1,000ℓ) 10,000ℓ	指定数量の倍数	1 0 倍	
譲渡又は引渡しのあった理由	売買による所有権の移転			
※ 受 付 欄				
※ 経 過 欄				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。
 - 4 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 5 譲渡引渡を証明する書類を添付すること。

8 品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書 【様式第16】

- ① 届出に係る施設区分以外を二重線で抹消する。
- ② 届出日（届出書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「届出者」欄は、原則として設置者の住所、氏名を記入する。ただし、設置者以外の所有者、管理者又は占有者が変更しようとする場合は、当該関係者の住所、氏名を記入する。
届出者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。
- ⑤ 「設置者」欄は、当該製造所等の設置者の住所及び氏名を記入する。
- ⑥ 「設置場所」欄は、当該製造所等の所在地を記入する。
- ⑦ 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、当該製造所等の設置許可年月日及び番号を記入する。
- ⑧ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑨ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
- ⑩ 「危険物の類、品名、最大数量」欄は、次により記入する。項目が多い場合は、「別紙のとおり」として別紙に記入する。
 - a 法別表に掲げる類、品名及び当該物品の化学名又は通称名を記入する。
 - b 最大数量は、貯蔵又は取り扱う危険物の最大数量を記入する。
- ⑪ 「変更予定期日」欄は、届出日より10日以降の日を記入する。

様式第16 (第7条の3関係)

危険物 ~~製造所~~ ~~貯蔵所~~ ~~取扱所~~ 品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書 【記入例】

〇〇年 〇〇月 〇〇日			
さいたま市長 殿			
届出者			
(電話 000 - 000 - 0000)			
住所 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇〇号			
〇〇〇〇株式会社			
氏名 代表取締役 〇〇 〇〇			
設置者	住所	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇〇号電話 000 - 000 - 0000	
	氏名	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
設置場所		さいたま市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇〇号	
設置の許可年月日及び許可番号		〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇 号	
製造所等の別		貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分 屋内貯蔵所
危険物の類、品名(指定数量)、最大数量	変更前	第4類 第1石油類 ガソリン(200ℓ) 1,000ℓ 第2石油類 軽油(1,000ℓ) 1,000ℓ 第4石油類 潤滑油(6,000ℓ) 600ℓ	指定数量の倍数
	変更後	第4類 第1石油類 ガソリン(200ℓ) 1,500ℓ 第2石油類 軽油(1,000ℓ) 2,000ℓ 第4石油類 潤滑油(6,000ℓ) 600ℓ	
変更予定期日		〇〇年 〇〇月 〇〇日	
※ 受付欄		※ 経過欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

9 廃止届出書 【様式第17】

- ① 届出に係る施設以外を二重線で抹消する。
- ② 届出日（届出書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「さいたま市長」と記入する。
- ④ 「届出者」欄は、所有者、管理者又は占有者の住所、氏名を記入する。
なお、原則として届出者は設置者であること。届出者が法人の場合は、名称、代表者の職名、氏名及び事務所の所在地を記入する。
- ⑤ 「設置者」欄は、設置者の住所、氏名を記入する。
- ⑥ 「設置場所」欄は、当該製造所等の所在地を記入する。
- ⑦ 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、当該製造所等の設置許可年月日及び番号を記入する。
- ⑧ 「設置の完成検査年月日及び検査番号」欄は、当該製造所等の設置の完成検査年月日及び番号を記入する。
- ⑨ 「製造所等の別」欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」のうち該当するものを記入する。
- ⑩ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は斜線で抹消する。
- ⑪ 「危険物の類、品名、最大数量」欄は、次により記入する。項目が多い場合は、「別紙のとおり」として別紙に記入する。
 - a 法別表に掲げる類、品名及び当該物品の化学名又は通称名を記入する。
 - b 最大数量は、貯蔵又は取り扱う危険物の最大数量を記入する。
- ⑫ 「廃止年月日」欄は、危険物施設を廃止した年月日を記入する。（届出により廃止となるため、原則として届出日と同日となるよう指導する。）
- ⑬ 「廃止の理由」欄は、理由を簡潔に記入する。
- ⑭ 「残存危険物の処理」欄は、廃止するタンクや配管への危険物の残存、又は可燃性蒸気の滞留を防止するための措置、方法について記入すること。
なお、地下貯蔵タンクについては、「地下貯蔵タンクの用途廃止に係る安全管理指針」（平成3年7月11日消防危第78号）に基づいた処理を指導する。
例 タンクと配管内の危険物を完全に除去し、廃止タンク内を中和剤で洗浄後、タンク頂部まで砂を完全に充填する。

様式第17 (第8条関係)

~~製造所~~
危険物 貯蔵所 廃止届出書
~~取扱所~~

【記入例】

〇〇年 〇〇月 〇〇日			
さいたま市長 殿			
届出者			
(電話 000 - 000 - 0000)			
住所 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号			
〇〇〇〇株式会社			
氏名 代表取締役 〇〇 〇〇			
設置者	住所	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 電話 000 - 000 - 0000	
	氏名	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	
設置場所		さいたま市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号	
設置の許可年月日 及び許可番号		〇〇年 〇〇月 〇〇日 第〇〇号	
設置の完成検査年月日 及び検査番号		〇〇年 〇〇月 〇〇日 第〇〇号	
製造所等の別		貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分 地下タンク貯蔵所
危険物の類、品名(指定数量)、最大数量		第4類 第2石油類 灯油(1,000 ℓ) 10,000 ℓ	指定数量 の倍数 10倍
廃止年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	
廃止の理由		施設閉鎖のため	
残存危険物の処理		タンクと配管内の危険物を完全に除去し、廃止タンク内を中和剤で洗浄後、タンクを掘り起こし、撤去する。	
※ 受付欄		※ 経過欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。
- 4 ※印の欄は、記入しないこと

